

# 芸術院賞にさいたまの根岸右司さん

# 緻密な雪景色の能手

高校の美術教諭一筋34年。シヨックを受けたのが最初の

全国高等学校文化連盟美術・工芸専門部会長も歴任し、退職後も「無我夢中で絵を描き続けてきた」。芸術院賞受賞の知らせに、「このような賞を頂けるとは考えたこともなかった。誰かが導いてくれたのでしよう。もったいない。ありがたい」。

1938年児玉町（現本庄市）生まれ。「田舎の農家生まれ。絵には全く縁がなかった」。高校1年の時、偶然近所の家で見た油絵にカルチャー11年間教員を務めた浦和



制作途中の大作「風雪光る」（130号）と根岸右司さん  
さいたま市見沼区大和田町の自宅

# 洋画の重鎮 絵は「自分探し」

校には「とても世話になった」と古潭風声も冬の北海道がと根岸さん。「恩のある人は数え切れないが、浦高で絵の勉強をできたことが大きかった。最初の賞を得たのも浦高時代。ひた向きに学ぶ生徒たちの姿に刺激を受けた。浦高時代がなければ今の自分はない」と話す。

105年の伝統がある美術団体「光風会」の重鎮で雪景色を描く名手。受賞対象となつて1面参照（菊地正志）

## 芸術院賞の受賞者

日本芸術院賞の受賞者と授賞理由は次の通り。（敬称略）

### ▽第一部（美術）

- 西田俊英（にしだしゅんえい）
- (63) 日本画。院展出品作「森の住人（すみびと）」。三重県生まれ。

### 根岸右司（ねぎしゆうじ）

- (79) 洋画。日展出品作「古潭風声（こたんふうせい）」。
- さいたま市在住。

### 高木聖雨（たかきせいう）

- (67) 日本名画。日展出品作「協賛恩賜賞。書。日展出品作「協賛（きょういん）」。
- 岡山県生まれ。

### ▽第二部（文芸）

- 高樹のぶ子（たかぎのぶこ）
- (70) 日本名鶴田信子（つるたのぶこ）。小説。人間関係の機微を考察し豊かな物語性を織り込んだ小説。山口県生まれ。

### 渡辺保（わたなべたもつ）

- (81) 日本名邦夫（くにお）。恩賜賞。評論。伝統演劇の本質を探究した業績。東京都生まれ。

### ▽第三部（音楽・演劇・舞踊）

- 大槻文蔵（おおつきぶんぞう）
- (74) 能楽。舞台成果と大阪能楽界発展・後進育成の業績。大阪府生まれ。

### 市川左団次（いちかわさだんじ）

- (76) 日本名荒川欣也（あらかわきんや）。歌舞伎。「仮名手本忠臣蔵」の高師直役などの演技。東京都生まれ。

### 鳥羽屋里長（とりはやしなが）

- (81) 日本名川原寿夫（かわはらとしお）。邦楽（長唄唄方）。長年にわたり第一人者として歌舞伎長唄の発展に尽くした業績。東京都生まれ。

### 柳慧（いちやなぎとし）

- (84) 恩賜賞。洋楽（作曲）。長年の幅広い作曲活動。兵庫県生まれ。